

平成28年度事務事業評価シート(27年度実績)

◎基本情報

事務事業名		下水道普及促進事業		担当部署	経済建設部 下水道課		
総合計画体系				根拠法令 計画など	鳴門市補助金条例・鳴門市補助金施行規則・鳴門市下水道普及促進対策助成金交付要綱		
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり		事業期間	開始	平成 21 年度	
政策(中項目)	3	身近に自然を体感できるまち なんと			終期	未定	
(小項目)							
施策	3	生活排水対策の推進					
基本事業	2	公共下水道水洗化率の向上					

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 供用開始後一定期間の浄化槽(またはくみ取り便所)利用者						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	供用開始区域において浄化槽(またはくみ取り便所)を利用されている市民に、できるだけ早期に下水道に接続していただく。						
事業計画	27年度に何を計画していたか	下水道接続工事を実施する者に対する助成金の交付、また下水道供用開始地区住民に対しての普及推進員によるサポートを実施し、「グループ申請制度」の周知をはかり、下水道加入率の向上に努める。						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	単位
		水洗化率(人口)	26.5	28.7	30.7	32.7	34.5	%

◎実施結果(DO)

事業実施内容	27年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	供用開始区域内にお住いの市民に、普及推進員による戸別訪問等を通して、下水道の接続に係る助成制度の内容をご説明し、下水道への早期接続をお願いしている。						
事業実施手法		<input type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他						
指標名		26年度実績	27年度実績	28年度目標	29年度目標	30年度目標	単位	
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	下水道接続人口	1,426	1,649	1,862	2,088	2,315	人
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	水洗化率(人口)		29.7	31.3	—	—	—	%
	目標達成率(実績/目標)			109.1	—	—	—	%
今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況			ほぼ計画どおり			

(千円)

財源内訳	平成27年度	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
		当初予算額		9,000	0	0	0	9,000	18,000
		全体予算額		9,040	0	0	0	9,040	18,080
		決算額		3,686	0	0	0	13,042	16,728
		繰越額		0	0	0	0	0	0
	人件費		正規職員(6,859千円/人)	臨時職員(2,071千円/人)	総人件費		総事業費		
		1.0	0.0	6,859		23,587			

【事務事業名：下水道普及促進事業】
(千円)

事業費推移	年度	26年度決算	27年度決算	28年度	29年度	30年度
	事業費	20,343	16,728	18,000	18,000	18,000
	うち一般財源	10,172	13,042	14,000	14,000	14,000
	人件費	6,517	6,859	6,859	6,859	6,859
	総事業費	26,860	23,587	24,859	24,859	24,859

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値	所見欄
①活動に対する評価	有効性	B:概ね有効性があった	グループ申請制度を創設したことにより、下水道への接続者は増加している。
	効率性	B:概ね効率的だった	職員による周知啓発だけでなく、国庫補助事業を活用したサポート事業により効率性は高くなっている。
②成果に対する評価	指標名	水洗化率(人口)	
	目標	29	%
	実績	31	%
	評価	A:目標を達成できた	
③総合的な評価		A	水洗化率の目標を達成していることから、A評価としたい。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	今後とも更なる普及促進に向けて、普及促進員をはじめ助成金制度(グループ申請制度)の周知を行いながら、下水道事業に対する理解も図っていく必要がある。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	平成28年度	今後も下水道事業に対する理解を得ながら、助成金制度の周知に努める。			
	平成29年度	今後も下水道事業に対する理解を得ながら、助成金制度の周知に努める。			